

日時：2020 年 9 月 29 日（火）17:00～19:00

場所：Teams

出席者：羽入敏樹（主査），矢入幹記（幹事），豊田政弘（幹事），池上雅之，富高隆，佐久間哲哉，中澤真司，平光厚雄，坂本慎一，漆戸幸雄，山内崇，富来礼次，石渡智秋，川井敬二，古賀貴士，富田隆太，中川武彦，佐藤洋，濱田幸雄（敬称略）

欠席者：（敬称略）

提出資料：

前回議事録の確認（2020年度第1回）（資料No.2-0）

1) 環境工学本委員会の報告（資料No.2-1）

2) 審議事項（資料No.2-2）

① 音環境運営委員会活動計画（案）（資料No.2-3、2-4）

② 大賞推薦候補（資料No.2-5、2-6）

③ 2021年度大会OS（資料No.2-7）

④ 2021年度大会 細分類・細々分類（資料No.2-8）

議題：

前回議事録（2020 年度第 1 回）を確認した。記載の通りで承認された（資料 No.2-0）

1) 環境工学本委員会の報告（資料 No.2-1）

- ・ 学術推進委員会：直営出版物の売れ行きについて。環境系は構造系に比べて一桁少ない売れ行き。AIJES はあまり数が出ない。一般書籍は環境工学は頑張っている（赤本，資料系）。講習会，シンポジウムは活発。このあたりの状況が次年度の予算に反映される。
- ・ 竹中育英会の報告について。
- ・ 鹿島学術財団の報告について。
- ・ 来年度大会の準備日程：OS については後ほど審議。プロ編をオンラインでやるかどうかは未定。細分類，細細分類について後ほど審議。
- ・ 21 年度特別研究委員会について：設置が可能で予算もつく。若手限定の枠もある。
- ・ 常置調査研究員会について：出版物の数やシンポジウムの回数などで点数が決まる。
- ・ 東日本大震災 10 周年ミニシンポジウムについて：本シンポジウムに先立ち開催予定。
- ・ オンライン開催の種別について：アフターコロナを受けて。
- ・ 活動成果の刊行物化の規定について。刊行委員会の承認が必要。科研費の規定にも注意。
- ・ 女性会員の参画について：若い女性の比率が増加している。
- ・ 卒論顕彰事情委員会：環境工学は来年度は音環境からはなし。
- ・ 教育賞について：今年度は推薦なし。
- ・ 大賞候補者の推薦について：投票できめることになって 5 年ほど経過。代理出席者の投票権なし。
- ・ 刊行物の刊行手続きについて：大きな変更なし。
- ・ 刊行企画書：スピーチプライバシ AIJES 査読終了。
- ・ 直営刊行物の絶版候補について：環境工学 5 件あり。いずれも絶版としない。電子化が望まれる。
- ・ AIJES の改定について：音声伝送性能評価規準。10 月末までに回答要請。
- ・ AIJES の見直しに関するアンケート：来年度 WG を立ち上げる予定。企画刊行運営員会の下。
- ・ 学会賞の受賞記念について：建築会館と WEB 配信の両方で実施予定。
- ・ 研究協議会について：開催予定だった研究協議会についても形を変えて実施予定。辻村先生が発表する予定。

- ・ インパルス応答の測定 WG：シンポジウム開催予定。

2) その他報告事項

- ・ 特になし

3) 審議事項

- ・ ① 音環境運営委員会活動計画（案）（資料 No.2-3、2-4）：提案の通りで承認された。
- ・ ② 大賞推薦候補（資料 No.2-5、2-6）：安岡先生を推薦することで承認された。
- ・ ③ 2021 年度大会 OS（資料 No.2-7）：室内音響小委員会（石渡委員から説明）からの提案「建築空間の音環境整備と吸音」の方向性で提案していただくことで承認された。
- ・ ④ 2021 年度大会 細分類・細々分類（資料 No.2-8）：提案の通りで承認された。
- ・ ⑤ 音声伝送 AIJES 改定（含：改定時の打診ルートについて）：権限を整理することで組織的に決定するという方針で承認された。また音声伝送 AIJES 改定については急ぐ必要はないということで承認された。

4) 各小委員会・WG の活動報告

- ① 固体音小委員会：漆戸主査。前回の音環境運営委員会以降、小委員会は開催していない。10/26(月)～30(金)で次回小委員会の開催日程を調整中。新規に 2 物件（8 室）でスラブのインピーダンスレベルを入手したので、各種予測法によるスラブのインピーダンスの予測計算値と実測値の対応性に関する検証を事例を増やして継続して実施する予定。
- ② 集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会：浜田主査。開催なし。10 月中旬に開催予定だが、学生を使った被験者実験を実施できるかどうか懸念。前回から小委員会は開催していない。10 月中に小委員会を開催する予定。来年度活動計画及び鉄道騒音測定量の妥当性を検証するための聴感実験の進め方について審議する予定。
- ③ 建築音響測定法小委員会：山内主査。前回の音環境運営委員会以降は開催なし。次回は 10 月もしくは 11 月にオンラインにて開催する予定。メール審議：シンポジウムについて。今年度開催予定だった数値解析小委員との共催シンポジウムに関し、実験や解析の進捗がないことから、来年度に延期する方向で審議中。来年度活動計画案について。
- ④ 室内音響小委員会：石渡主査。★第 2 回小委委員会 7 月 28 日にオンラインで開催。G 活動報告の確認。環境運営委員会 協議事項相談。1 年度 OS テーマについての検討。次回 10/7 オンラインで開催予定。各 WG 活動報告：インパルス応答予測・計測 WG オンラインで WG を実施。MTF から STI を算出する過程で考えられる間違いやすいポイントについてこれまでの検討をとりまとめている。これらの成果発表の場として 2021 年 1 月 20 日にシンポジウムを開催する計画について検討している。コンテンツ WG：オンラインで WG を実施。Web サイトを使った情報発信により、広く気軽に吸音の重要性を伝えることを目的に、具体的には note という SNS を用いてサンプル記事を作成し、内容や更新方法などを検討している。吸音設計 AIJES WG オンラインで 6 月 26 日 WG 開催今後の方針の意見交換。年内に 2 回、年明けて年度末までに 1 回の WG 開催を予定。子どものための WG：本年度 1 回目のオンライン会合を 9 月 3 日に開催した。野口委員、船場委員が設立した一般社団法人「子どものための音環境デザイン」に WG としても協力し、講座等を通して学校・保育施設の音環境設計の普及を目指す。
- ⑤ 音響数値解析小委員会：富来主査。・9/23（水）にオンラインで第 1 回小委員会を開催。本年度前半については各研究機関ともに思うような活動が行えていないが、後半にできる範囲で実施することを確認。本年度に開催予定であった解析結果の実用化に関する建築音響測定法小委員との共催シンポジウムについては来年度以降へ延期することを承認。本年度設置期間が終了する、音響数値解析ソフトウェアの開発・普及WG の来年度以降の活動について、WG で協議することを確認→9/25（金）WG 開催、WG の来年度廃止、再設置しないことを決定、今年度後半で WG 関連 Web サイト整備、プログラムのバージョンアップに取り組む予定。次回は 11 月末から 12 月末で調整予定。

- ⑥ 音環境規準検討小委員会：開催なし。来月日程調整予定。平光主査。
- ⑦ 企画・広報WG：富隆主査。前回の音環境運営委員会以降のWG開催なし。次回WGは明日9/30（水）にオンラインで開催以下の内容について議論を行う予定。今後の活動方針に関する議論。事前にアンケート調査を実施しており、WGの中で以下の議論を行う予定。第79回音シンポジウムの課題・反省点を踏まえた活動→問題提起・提言，活動成果のWEB公開検討 等建築音響技術者地位向上に向けた具体的な活動の模索。企画・広報WGのあり方について「建音検索」メンテナンス。10月末を目標に更新作業を実施中。AIJ ～2018年度まで。ASJ, INCE ～2019年度まで。
- ⑧ その他：特になし。

5) 音環境研究の社会還元促進について（資料No.3-3）

これまで音環境分野において多くの研究成果・知見が蓄積され、シンポジウム、書籍やAIJESの出版等を通じて社会に還元してきた。このような活動にもかかわらず、その知見が実際の建築設計に十分反映されておらず、社会還元があまり進んでいない分野もあると思われる。音環境分野の研究の社会還元を促進するための作戦を考えたい。これまでの2回の議論を踏まえ主査が資料にまとめた資料をベースに討議。

7) 他学会・研究会の予定

- ① 日本音響学会・建築音響研究会：HP参照。
- ② 日本音響学会・騒音振動研究会：HP参照。

8) その他：

- ① インターノイズ：動画配信で実施。
- ② 国際音響年は一年延期。
- ③ 予算について：前年度執行率が次年度予算に反映されるというが、コロナの影響で予算が執行できない場合が多いことは考慮されるのか？⇒配慮するとのこと。詳細は羽入主査から事務局へ確認して改めて報告。

9) 次回以降の予定：

第3回：2020年11月16日17:00～19:00

以上